

# 「兵庫・憲法県政の会」会報

憲法が輝く兵庫県政をつくる会 2021年6月14日 第16号 (部内資料)  
TEL 078-335-3802 FAX 078-335-3830

メール info@kenpo-kensei.com  
ツイッター「金田峰生」 @F1988Kaneda  
ツイッター「兵庫・憲法県政の会」 @kenpokensei  
YouTube「金田峰生 兵庫・憲法県政の会」  
HP「兵庫・憲法県政の会」 (金田峰生ランディングページ)

## 「市民と野党の共同候補は金田峰生」

### 11日オンライン集会の成功を力に、 告示日めざし宣伝・対話を一気に加速させよう



11日朝JR六甲道で  
宣伝 (左)  
12日兵庫労連集会で  
挨拶 (右)



### 6月11日オンライン集会・発言

#### 「丹波の会」西本嘉宏さん

先日、ある会社社長と会って話をしたおり「丹波市と丹波篠山市で、それぞれの自民党県議が違う知事予定候補との連名ポスターだ。自分は自民党員だが、もう自民はあかんと思う」と話され、「金田さんを」という声も広がっている。2台の宣伝カーを運行し、連名のぼり、リーフも。自公県政から命と暮らしを守る県政へと、地域要求を掲げて運動していきたい。

#### 新日本婦人の会・荻野潤子さん

県は男女賃金格差、女性の就業率、保育所待機児も全国ワーストで、女性の支援制度が遅れている。支援制度を知らせるチラシをまくと



「DVやパワハラで苦しんできた。同じような女性たちに寄りそう活動をしたい」との声が。SDGsを本気でめざすのは金田さんだけ。「安心して病院に行きたい」など切実な声を力に、日本のジェンダー平等度を国際水準へ、兵庫から変えよう。

#### 民主青年同盟・上圓隆さん

学生への食糧支援に取り組んでいる。月々の食費が6000円という学生もあり、健康で文化的な生活が破壊されている。「今月はバイトがゼロに」「白いご飯に醤油をかけてしのいでいる」など悲痛な叫びが。県が何をしてきたかが問われる。私たちが出した「学生支援」の請願は県議会で否決され、県当局の冷たい姿勢も忘れられない。知事選挙は、こうした県の姿勢を変える大きなチャンスだ。

オンライン集会是会報15号 (HP) にも掲載

### 「金田峰生」13日公開討論会後の連続ツイート

**6月13日** 神戸新聞・サンテレビ・ラジオ関西によるオンライン公開討論会がありました。討論の中で金沢さんが、「この10年間で兵庫の福祉は金田さんの言うような後退はない」と言われましたが、県の医療費助成事業は04年、08年、11年、14年と改悪され、老人医療費助成事業は2017年に事実上廃止されています。

**6月13日** ①この間の医療崩壊は、県が保健所と病床を大幅に減らしてきたからだという反省はあるか。②保健所削減計画・病床削減計画を抜本見直しする考えはあるか。③大規模・頻回のPCR検査を実施する考えはないのか。を質しましたが、金沢さんは認識が違っていると。これでは命は守れません。

**6月13日** 斎藤さんも、大阪府でのコロナ対応の経験を活かすと言われているので、保健所や病院統廃合や雨合羽、イソジン、大規模・頻回のPCR検査否定を踏襲するのかと質問したのですが、統廃合は着任前の事だとか、検査数やワクチン接種数は増やしてきたなどと言われるだけで、明確な回答はありませんでした。

**6月13日** 30人学級は、3人が政策に掲げています。私はすぐに中学まで35人学級を実施し、可及的速やかに高校までの30人学級を実現させるのに対し、金沢さんは当面小学6年までで、地域の事情によって30人学級をめざす。斎藤さんはテンポを示されませんでした。方向性は一致しているので中身を詰めましょう。

**6月13日** あと、選択制夫婦別姓に賛成を表明したのが3人 (反対は中川さんだけ) でした。東京五輪は開催するべきでないとしたのも3人 (開催すべきは斎藤さんだけ) でした。

